

福田寺だより

三教指帰の教え

神奈川県小田原市飯田岡二五七
飯田山 石畠 田 寺

発行

住職 橋本尚信

ということで、儒道仏の三つの教えの指示するものという題名です。これをお大師様は戯曲風にまとめ、三幕に仕立て上げています。

登場人物は

○亀毛(きもう)先生……儒教の師
○虚亡隱士(きよぶいんし)……道教の師

○仮名乞兒(かめいこつじ)……佛教の修行者

○兎角公(とかくこう)……館の主人
○蛭牙公子(しつがこうし)……放蕩者の兎角公の甥

以上の五人です。

第一幕は兎角公の強い要請で、亀毛先生が放蕩生活している蛭牙公子を立ち直らせる為、儒教の教えであります。ですからこの三教指帰はお

大師様の出家の宣言書としての意味合いが強いものであります。その内容を見てみましょう。
お大師様は十八才で大学に入つたもの、官吏養成のための教育機関に飽き足らず大学を止めてしまい、四三教とは儒教、道教、佛教の三つの教えであります。指帰とは指し示す

第二幕は虚亡隱士が、道教の不老不死を得る術で仙人の様に天空を駆け巡り、俗世界を捨て清淨潔白な生

今回お大師様(弘法大師・空海)の著作の一つ三教指帰(さんごうしき)について考えてみましょう。三教指帰はお大師様が二十四才の時に書かれたもので、数ある著作物の中でも若い頃の代表作であります。お大師様は十八才で大学に入つたものの、官吏養成のための教育機関に飽き足らず大学を止めてしまい、四三教とは儒教、道教、佛教の三つの教えであります。指帰とは指し示す

活を教え、道教の幽遠高邁なる理想が儒教に勝る事を強調する場面が展開されます。

第三幕でいよいよ佛教の修行者仮名乞児が登場します。仮名乞児はお大師様が自分を置き換えた人物として描いたもので、亀毛先生の儒教も虚亡隱士の道教もそして自分が説く佛教も、それぞれ孔子・老子・釈迦という聖人の説いた教えであるから皆素晴らしい教えはあるが、中でも真実の人生に目覚め、永遠の生命を得、人間本来の実相を悟ることのできる教えは佛教であるとし、その論拠を示すのであります。

即ち、釈尊の教えである八正道の実践、六度の行を修し、四弘誓願を根本に据えた生き方が最上のものである事を説いたのです。この仮名乞児の教えに、その場に居る四人は感銘して、皆佛教の信奉者になるというものです。

さて、この三教指帰を読む事によりお大師様の若き日の姿がおぼろげながら見えてくる訳ですが、周囲の猛反対を乗り越えて、自らの俗世界での安閑とした生活を捨て、壯絶な修行生活を続けながら自分の信じる

★ ☆ ★ 納骨堂建設 ★ ☆

★ ☆ ★ 進めていきます ★ ☆ ★

に申し訳ありませんが、今しばらくお待ち頂きます様お願い申し上げます。

仏教相談会

誰でも気軽にどうぞ

勿論檀家さん以外でも仏事に関して、どうしたらよいのか？ どんな些細な事でもご相談ください。

電話065-3612755

仏道の中に身を投じて行く覚悟たるや身が震える思いがします。そしてその心境が、徹底した世の無常感を追求した結果のものであるということを、現在の若き仏道修行者に心にとめて欲しいものであります。

に向けての具体的な計画が立てられればと思っています。一度建築確認が下りる寸前で頓挫した時は、責任追及をも考えましたが、将来に亘つて事業を行う度に問題が生じるよりはここで多少遠回りをしても敷地を整理しておく方が大事と思い、現在の状況になっています。どうか納骨堂をお待ちいただいている皆様には真

福田寺

は夫婦だけの世帯の数が全世帯の半分近いという結果であります。かつて家族といえば、祖父母、父母何人かの子供達という構成を思い浮かべるのが普通でしたが、今やその様な家族構成の家を探すのが難しい時代になってしまいました。この核家族の更に小さな世帯の増大は家族の問題だけでなく、地域の希薄な関係を増長させ「無縁社会」という言葉に象徴される社会を作り出してしまいました。

忍び寄る無縁社会への対策

忍び寄る無縁社会への対策

象は寺院にとつても影響が大きいも

行できるのでしょうか？

平成二十一年度の厚生労働省の統計で、日本の世帯構成が発表されましたが、それによると一人暮らし又は夫婦だけの世帯の数が全世帯の半分近いという結果であります。

かつて家族といえば、祖父母、父母何人かの子供達という構成を思い浮かべるのが普通でしたが、今やその

象は寺院にとつても影響が大きいものであります。近年特に都会では葬儀の仕方に現れている様で、家族葬や直葬（僧侶を呼ばず直接火葬場へ行つて荼毘に付すだけ）が増えていると聞きます。親族間や地域社会間の関係が希薄になつてゐる事を示しているものと思ひます。

様な家族構成の家を探すのが難しい時代になってしまいました。この核家族の更に小さな世帯の増大は家族の問題だけでなく、地域の希薄な関係を増長させ「無縁社会」という言葉に象徴される社会を作り出してしまいました。

元来葬儀は地域の人々の互助活動であり、死者を親族や地縁者で送り出す厳粛な儀式であったものです。そうする事により人の死を重く受け止め、お互いに今生での別れを認め合い死者の尊厳を大切に思い合うものであります。

葬儀の形態もこじんまりとしたものに変化するのは致し方ないかも知れません。しかし、死者への尊厳、畏敬の念まで失つては葬儀の意味がありません。

どの範囲までが寺の領域か、業者との係わりをどうするか、費用の算出から駐車場まで課題は沢山あります。皆さんの意見を参考にしながら、「お寺で葬儀」の実現のために検討してみたいと思います。何はともあれ、第一報はお寺にしていただく、そこから全てが始まります。

新年厄除け薬師護摩手供養

申し込み受付中

一月八日午後一時より修行

恒例の新年厄除け護摩を一月八日

午後一時より修行致します。護摩を

焚く修行は、近年いろいろな所でさ

れていますが、正統に受け継がれて

いるのは密教寺院であります。福田

寺は、京都・東寺を本山とする真言

密教の寺で、創建以来八百七十年余

密教寺院としての歴史を刻んで参り

檀家以外の方でも勿論結構ですの

で、皆様お揃いで新年の護摩供養に

お参り下さい。

平成二十三年厄年

男性

前厄	昭和四十六年生まれ
本厄	昭和四十五年生まれ
後厄	昭和四十四年生まれ

女性

前厄	昭和五十五年生まれ
本厄	昭和五十四年生まれ
後厄	昭和五十三年生まれ

記

期日・・・一月八日、午後一時より

祈祷料・三千円

祈祷内容・・厄難消除(厄よけ)

身体健全、病魔退散、家内安全、
交通安全、商売繁盛、業運繁栄、
学業成就、合格祈願、安産祈願、
子授け祈願、その他

申し込み・・一月七日まで、電話可

電話 0465(36)2755
FAX 0465(37)6688

除夜の鐘とともに、本堂の扉を開けておきます。
午前0時より一時まで、住職により新年の御祈祷が修法されます。ご自由に参拝ください。

昔畠れのわ參り

古い護摩札やお守りなどは、暮れのお参りの時に、本堂入り口に用意された納め場所に納めて下さい。特に大きなものや、燃えないものは、寺の者に連絡してください。

午回のお知らせ

来年度の年忌(年回)法要の張り紙を本堂に掲げておきますので暮れのお参りのときに自分の家の年忌を確認して下さい。年忌に相当している場合、法要の日取りを早めに連絡して下さい。